

栃木県警察本部長

原田 義久



て いるところです。

本年、県警察では重点目標に、「交通死亡事故抑止対策の推進」を掲げ、

○ 交通情勢に対応した交通安全対策の推進

新年明けましておめでとうございます。

栃木県トラック協会の皆様には、御家族ともども輝かしい新春

をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、国民生活、産業活動を支える公共的物流サービスの担い手として、その重要な使命を果たすべく、様々な交通事故防止対策を開展し、人と車の安全を守るため御尽力されておりますことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和元年中の全国の交通事故情勢については、交通事故死者数は3215人で、統計の残る昭和23年以降最少となつたものの、子供が犠牲となる事故や高齢運転者による重大事故が後を絶たず、また、いわゆる「あおり運転」も社会問題となりました。一方、県内では、貴協会等と連携し、「小中学生や高齢者を対象とした大型トラックによる事故を再現した交通安全教育」「高速道路サービスエリアでの交通安全フェアの開催」を推進するなどした結果、人身事故件数、負傷者数とともに16年連続で減少し、死者数も2年連続で抑止目標の90人以下を達成することができました。しかしながら、いまだに多くの命が交通事故の犠牲となつていることに変わりはありません。依然として死者の約半数を高齢者が占める等、高齢化の進展に伴う交通警察の大きな課題を実感したことになります。

皆様方が県民の模範となり、全ての県民が安全運転を励行することにより、悲惨な事故は大きく減少すると信じております。

県警察といたしましても、皆様と連携を図りながら、「交通事故防止100日コンクール」を始め、「子どもや高齢者に優しい3S運動」「危険歩行者等発見における110番通報」等の交通事故防止活動を鋭意推進してまいりますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。